

教員名	宮尾 正樹 (MIYAO Masaki)
所 属	文教育学部言語文化学科中国語圏言語文化講座
学 位	文学修士(1982 東京大学)
職 名	教授
URL/E-mail	miyao@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

中国 / 近代 / 文学

◆研究内容

グローバル化する中国における文学、文化の問題について、海外在住作家や、インターネット文学、文化的アイデンティティの問題などを題材に考えています。

五四時期の文白論争、30年代の大衆語論争など、言語（書き言葉）と社会の問題についても考えています。

インターネット文学については、有名な楽府「木蘭辞」（ディズニーのアニメ「ムーラン」の題材になりました）の、インターネット上で流布するさまざまなパロディを分析して、そこにジェンダーやナショナリズムの問題が見えることや、いわば隠微なメンタリティの媒体としてのインターネット空間のあり方を考察しました。

グローバル化する中国における文学については、ハ・ジンという在米の中国人作家の作品を取り上げ、欧米の中国観を内面化／戦略化したものであること、そして、彼の作品の中国語圏における受容のされ方に、現在の中国社会の（グローバル）文化のあり方／見方を見てとることができることを指摘しました。

◆教育内容

○中国語

中国語初級では、通常の授業の他、留学生を招いて、学んだ中国語でネイティブ・スピーカーとコミュニケーションをする楽しみを味わってもらうこともあります。中級の講読では、中国語の新聞記事を読んで、読解力をつけると同時に、日本のマスコミではあまり報じられないような、中国の社会や文化の問題を知ってもらうことを心がけています。

○近代文学史

中国の近代文学、現代文学の代表的な作品に触れてもらうとともに、中国の近代、現代における文学のあり方についても考えるきっかけをつかんでもらうことを心がけています。

○アジアにおける国語問題

中国文学の専門科目以外に、アジアの近代におけることばと社会の問題、特に「国語」の問題について考えてもらう授業も担当しています。日本、中国、東アジアが中心となります。

ディベート形式でことばと社会の問題について考える授業も担当します。

◆Research Pursuits

to study the transformation of culture and identity in globalizing China, focusing on exile writers, culture crisis, etc.

to study the problem of written language and society, focusing on vernacular language movement in the May Fourth Era, the Mass language movement in the thirties, etc.

ex.)

Chinese traditional Yuefu, Mulan Ci, based on which Disney made the cartoon film, Mulan, has produced a lot of her descendents in literature and in present days, in internet. They show us the notions of gender, nationalism, and so on, of Chinese people and culture, at the same time, reveal the characteristics of internet space.

About the literature in globalizing China. Ha Jin, who went to US in late 80s, published stories written in English, and won many awards. His pieces and the way they have been read in the Western world reveals how in the age of globalization, Chinese writers/literature can and have to adapt themselves to the logic and the value of the Western world, esp. those of US.

◆Educational Pursuits

*Chinese language

Besides ordinary lessons, the class invites Chinese students and try to chat with them in Chinese, through which students understand the fun of communication with Chinese through Chinese language.

In the intermediate class, the class read Chinese newspapers, through which acquire the skill of reading, and at the same time get familiar with various problems of Chinese society and her culture, most of which Japanese media rarely feature.

*Modern Chinese literature

In this class, through reading masterpieces of Chinese modern literature, students get to consider the functions of literature itself in modern China and her culture.

*National languages in modern Asia

The problem of National language(KOKUGO in Japanese, GUOYU in Chinese) in modern Asian countries have a lot of common characteristics and at the same time show differences according to their history and process of modernization. This class deals with this problem, mainly focusing on the East Asia.

There is another class which also deals with the problems of the language and the society. Students think about them through debates.

◆共同研究例

・死、あるいはその哀悼について、中国の古典文学から近現代文学まで、どのように表現してきたかを共同研究しました。(佐藤・宮尾編『ああ、哀しいかな』汲古書院)

◆将来の研究計画・研究の展望

社会や文化の中に文学や言語を置いて研究していきたいと思っています。

最近では、近代や現代の都市の風景を形作るもの、たとえば、1920年代、30年代の人力車(夫)と現代中国のタクシー(運転手)の文学における表象について興味を持っています。

◆共同研究可能テーマ・今後実用化したいテーマ

- ・グローバル化と文学
- ・言語と社会
- ・情報化社会と文学

◆受験生等へのメッセージ

何についてもそうですが、中国について、マスコミが流す情報だけを信じないこと。同時に、中国に旅行したり、身近な中国人を通じて作り上げた自分なりの中国イメージを過信しないこと。

「中国は～」とか「中国人は～」とかいう言い方には特に注意が必要かと思います。